

数量総括表

工事区分・工種・種別・細別欄	規格欄	単位欄	数量欄
本工事費		式	1.
管路		式	1.
管きょ工(開削)＜管径200mm＞		式	1.
管路土工		式	1.
管路掘削		式	1.
管路埋戻		式	1.
管布設工		式	1.
硬質塩化ビニール管	塩ビ管 φ 200	m	11.1
マンホール削孔接続	組立0・1号 塩ビ管用 φ 200	箇所	1.
埋設標識テープ	W150 ホリエチレンクロス 2倍折	m	40.
管路土留工		式	1.
アルミ矢板土留	掘削深:2.5	式	1.
地下水低下工		式	1.
ウエルポイント		式	1.
マンホール工		式	1.
組立マンホール工		式	1.
組立1号マンホール		式	1.
取付管およびます工		式	1.
管路土工		式	1.
管路掘削		式	1.
管路掘削	人力掘削	式	1.
管路埋戻		式	1.
ます設置工		式	1.
ます(公共汚水ます)	N=6箇所	式	1.
取付管布設工		式	1.
取付管	φ 150mm材工共 N=6箇所	箇所	6.
付帯工		式	1.
舗装撤去工		式	1.
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚:150mm以下	式	1.
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装版厚:15cm以下	式	1.
路盤掘削積込	バックホウ山積0.45m ³	式	1.
殻運搬	As舗装版 運搬距離10.0km 処分先:長生 処分費含む	m3	13.
殻運搬	路盤廃材 運搬距離22.8km 処分先:君津 処分費含む	m3	35.
濁水運搬処理	運搬距離:往復21.2km(現場～万田野) 処理費有	式	1.
舗装仮復旧工		式	1.
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシャー RC-40 仕上り厚:100mm 普通舗装Ⅱ	m2	17.
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシャー RC-40 仕上り厚:450mm B交通	m2	20.
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚:100mm 普通舗装Ⅱ	m2	17.
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚:150mm B交通	m2	20.
不陸整正	有り 再生粒度調整砕石 RM-40 9mm以上13mm未満	m2	168.
基層	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚:50mm 3.0m超	m2	109.
表層	再生密粒度アスコン(13)普通舗装(Ⅱ) 仕上り厚:50mm	m2	37.
表層	再生密粒度アスコン(20) 県道舗装(B交通)仕上り厚:50mm	m2	135.
区画線工		式	1.
区画線工		式	1.
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 無し	m	25.
溶融式区画線	溶融式手動 実線 20cm 厚1.5mm 無し	m	16.
仮設工		式	1.
電力設備工		式	1.
電力設備		式	1.
交通管理工		式	1.
交通誘導警備員B		式	1.

【運 搬 費 (積 上 げ)】

(1)仮設材運搬
建込簡易土留

番 号	深 さ(m)	パネル厚(mm)	面積計算(m ²)	重 量 (t)
合 計				

(2)アルミ矢板

番 号	深 さ(m)			重 量 (t)
	2.5		計算書参考	0.24
合 計				

1. 運搬費(円)

×

×

2

=

円

2. 積込取卸し(円)

×

×

2

=

円

合 計	円
-----	---

第 2 号計算書

【役 務 費】

1. 基本電力料

基本電力料の算定 = 基本料金 × 契約最大電力 × 供用月数
(2026年度見積り)
= × 21 × / 30 ()
= 円

契約最大電力の算定 (機械名:ウェルポイント)

容 量	換算率	1台当りの容量	台 数	契約負荷設備容量	同時使用する機械	
a (kw)	b	a * b (kw)	c	a * b * c (kw)	台数	容量(kw)
18.5	1.25	23.13	1	23.13	1	23.13

契約負荷設備の最大容量のものから
最初の2台の容量につき 23.13 × 1台 × 1 = 23.13
次の 2台の容量につき

計				23.13
最初の	6 kw	6.00 ×	1.0	= 6.0 kw
次の	14 kw	14.00 ×	0.9	= 12.6 kw
次の	30 kw	3.13 ×	0.8	= 2.5 kw
次の	100 kw	×	0.7	= kw
次の	150 kw	×	0.6	= kw
次の	200 kw	×	0.5	= kw
次の	500 kw	×	0.3	= kw
計				21.1 kw

ここで出た値21.1kwが50kw以下であるので 21.1≒21kwとする。

2. 工事費負担金

申請手続き等(2026年度見積り)

 円/ヶ所 × 1 ヶ所 = 円

第3号計算書

アルミ矢板損料

4m/0.333=12.01≒13枚 土留めの周りの長さ(m)/矢板幅(m)

		D	M	C	K	D*M+C*K			W	F
		日	円/日・枚	円/枚	補正率1/2(n+1)	円/枚	t/枚	枚	t	円
アルミ矢板	L=2.5m				1.5		0.012	20	0.24	
								計	0.24	

F: 賃料総額 F=(D*M+C*K)*W 物価P819(R8,8)資料P297(R8,8) 採用

D: 供用日数	腹起こし1.5						
M: 枚当り賃料（日当り賃料）	アルミ矢板1.5						
C: 1現場当り整備費	アルミ矢板2.0						
K: 補正率1/2(n+1)	アルミ矢板2.5						
W: 重量	水圧サポート						
n: 使用回数	水圧ポンプ						

(1) アルミ腹起こし
L1.5 { 円+(円/本・日× 日) } ×2本×2段= 円 円

(2) 水圧サポート
(円+ 円/本・日× 日) ×2本×2段= 円 円

(3) 水圧ポンプ
(円+ 円/台・日) × 日= 円 円

アルミ矢板 合計	
アルミ腹起こし・水圧サポート・ポンプ合計	
合計	

管渠工

管路土工集計表

名 称		規 格	計 算 式		単位	数量	設計 数量
管路掘削							
	機械掘削積込	バックホウ 0.28m ³ 発生土運搬(4t積)	9.8	= 9.8	m ³	10	10
管路埋戻							
	機械投入埋戻	(バックホウ0.28+タンパ) BH積込・ 流用土運搬(4t積)	9.4	= 9.4	m ³	9	10

管渠工

[illegible]

マンホール工

組立マンホール工集計表

名 称		規 格	計 算 式		単位	数量	設計 数量
組立1号マンホール築造工							
	人孔鉄蓋 車道用	径 600 T- 14	1	= 1	組	1	1
	組立マンホール1号人孔	底版	1	= 1	個	1	1
	組立マンホール1号人孔	躯体ブロック 90	1	= 1	個	1	1
	組立マンホール1号人孔	斜壁ブロック 45	1	= 1	個	1	1
	組立マンホール1号人孔	調整リング 5	1	= 1	個	1	1
	組立マンホール1号人孔	調整金具 25	1	= 1	個	1	1
	底部工		1	= 1	基	1	1
	人孔ブロック据付工 (組立式)	1 号 H= 3m以下	1	= 1	箇所	1	1

取付管およびます工

管路土工・ます設置工・取付管布設工集計表

名 称		規 格	計 算 式	単位	数量
管路掘削					
	機械掘削	バックホウ0.28	山留内 15.50 = 15.50	m ³	16
	人力床掘		民地・公樹部 7.20 = 7.20	m ³	7
管路埋戻					
	機械投入埋戻	(バックホウ0.28+タンパ) BH積込・埋戻土運搬(4t積)	山留内・ 取付管部 14.9 + 民地・ 公樹部 7.00 = 21.9	m ³	22
管路土留					
	アルミ矢板建込・引抜工	両側分 H=2.5m	6.0 = 6.0	m	6
	アルミ矢板損料		1.0 = 1.0	式	1

取付管およびます工

まず設置工・取付管布設工集計表

名 称		規 格	計 算 式	単位	数量
	公共汚水桝設置工				
	ます設置工(塩化ビニル製)	径200mm H= 1.5m 以下	5 = 5	箇所	5
	ます設置工(塩化ビニル製)	縦型 径200mm H= 1.5m 以上	1 = 1	箇所	1
	取付管布設工				
	取付管布設	塩ビ製 径150mm 取付管長 標準	6 = 6	箇所	6

管渠工

舗装撤去工集計表					
名 称	規 格	計 算 式			単位 数量
舗装版切断					
	舗装版切断工	As 15 cm以下	本管 22.00 枺 63.30 本復旧 39.27 = 124.6	m	125
舗装版掘削					
	舗装版破碎	BH 0.45 m ³	本管 22.00 枺 30.90 本復旧 115.16 = 168.1	m ²	168
	路盤掘削積込	BH 0.28 m ³	本管 2.74 枺 12.50 本復旧 20.00 = 35.2	m ³	35
殻運搬処理 (As廃材)					
	ダンプトラック運搬		本管 0.66 枺 2.10 本復旧 10.22 = 13.0	m ³	13
殻運搬処理 (路盤廃材)					
	ダンプトラック運搬		本管 2.74 枺 12.50 本復旧 20.00 = 35.2	m ³	35
濁水運搬処理					
	濁水運搬処分	比重:1.2単位体積 0.0017m ³ /m	124.6 × 0.0017 = 0.212 0.212 × 1200 = 254.4	kg	254

管渠工

地下水低下工集計表					
名 称		規格	計 算 式	単位	数量
ウエルポイント工					
	ウエルポイント 設置・撤去	L= 2.7 m	本管 ピッチ 公共樹 12 ÷ 2 + 8 = 14.0	本	14
	ウエルポイント 設置・撤去	L= 3.6 m	公共樹 2 = 2.0	本	2
	ウエルポイントポンプ 設置・撤去			組	2
	ウエルポイントポンプ運転管理		=	日	
	ウエルポイント工損料			式	1
	ジェット装置損料		本 本 日 16.00 / 100 × =	式	
	発動発電機		=	日	

付帯工

舗装復旧工集計表					
名 称	規 格	計 算 式			単位 数量
舗装復旧工					
	下層路盤工	普通舗装Ⅱ RC 40 t= 10 cm	単柵 本管 柵 3.40 + 12.60 + 1.20 = 17.2	m ²	17
	下層路盤工	B交通 RC 40 t= 45 cm	単柵 20.00 = 20.0	m ²	20
	上層路盤工	普通舗装Ⅱ RM 40 t= 10 cm	単柵 本管 柵 3.40 + 12.60 + 1.20 = 17.2	m ²	17
	上層路盤工	B交通 RM 40 t= 15 cm	単柵 20.00 = 20.0	m ²	20
	不陸整正工	再生粒度調整碎石 RM-40 9mm以上 13mm未満	単柵 本復旧 30.9 + 137.16 = 168.1	m ²	168
	基層	B交通 As 20 t= 5 cm	本復旧 109.28 = 109.3	m ²	109
	表層	普通舗装Ⅱ As 13 t= 5 cm	単柵 本復旧 10.90 + 26.00 = 36.9	m ²	37
	表層	B交通 As 20 t= 5 cm	単柵 本復旧 20.00 + 115.16 = 135.2	m ²	135

道路修繕

[illegible]

仮設工

交通管理工集計表

[illegible]

土 工（塩ビ管200~300/ヒューム管250・300）

		塩ビ管			ヒューム管	
管内径(mm)		200	250	300	250	300
管外径 (m)	D	0.216	0.267	0.318	0.306	0.360
管 種 番 号		1	2	3	4	5

☆ 対象となる 内の数字を
内の数字を管種番号欄に記入する。

工 区 番 号	人 孔 番 号		人 孔 間 延 長	管 種 番 号	掘削幅	掘 削 深		平 均 掘削深	機 械 掘 削 ・ 残 土 運 搬 土 量				埋 戻 土 運 搬	埋 戻 土 量				残 土
	上 流	下 流	(m)		(m)	上 流	下 流	(m)	素掘(0.28)	山留内(0.28)	山留内(0.45)	1次掘削(1.0m)		素掘(0.28)	山留内(0.28)	山留内(0.45)	1次掘削(1.0m)	
			L		B1	H1	H2	H	V	V=L*B1*(H-t1+t2+t3))			V1	V1=L*B1*(H-t4)				V-V1
1	31-4-1-1	既31-4-1	12.00	1	0.85	1.45	1.50	1.48	9.8				9.4	9.4				0.4
合 計			12.00						9.8				9.4	9.4				0.4

舗 装 工 (本 管 部)

☆ 対象となる舗装構成の に*印を記入する。

工区 番号	人 孔 番 号		人 孔 間 延 長	舗 装 幅 員	県道(歩道) 0.19	高級舗装 0.50	普通舗装(Ⅲ) 0.33	普通舗装(Ⅱ) 0.25	区画道路(路盤) 0.33	仮舗装(路盤) 0.05	区画道路(路床) 0.00	総舗装厚
	上 流	下 流										
				L	B2	A1=L*B2	A2	A3	A4	A5	A6	
1	31-4-1-1	既31-4-1	12.00	1.05				*	12.6			0.25
合 計			12.00						12.60			

管 布 設 工・土 留 工 (本 管 部)

人孔種類	0号	1号	2号	塩ビ	レジン	変化点
番号	0	1	2	3	4	5
内径	0.75	0.90	1.20	0.50	0.47	0.00
駆体厚	0.075	0.075	0.10	0	0	0

※塩ビandレジンマンホールはマンホール深 3.0m未満で使用すること。

工区 番号	上 流 部 人 孔			下 流 部 人 孔			人孔間 延 長	管渠延長 (布設延長)	基礎延長 (明示シート)	建 込 簡 易 土 留 工						ウェルポイント		
	人孔番号	人孔 種別	控除幅	人孔番号	人孔 種別	控除幅				H=1.5m	H=2.0m	H=2.5m	H=3.0m	H=3.5m	H=4.0m	L=2.7m	L=3.6m	L=5.5m
		(番号)	(m)		(番号)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)
1	31-4-1-1	1	0.450	既31-4-1	1	0.450	12.00	11.10	10.95							12.00		
合 計							12.00	11.10	10.95							12.00		

舗装工・管布設工（公共污水枳・取り込み管）

人孔間番号			舗装種別
No.	上流	下流	
1	31-4-1-1	既31-4-1	普通舗装(Ⅱ)
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

舗装種別	総面積
県道（歩道）	
高級舗装	
普通舗装(Ⅲ)	
区画道路(舗装)	
区画道路(路盤)	
仮舗装(路盤)	1.2 m ²
区画道路(路床)	

公共枳番号	人孔間番号 (No.)	舗装工			総舗装厚 (m) t4	舗装種別
		舗装延長 (m) L3	舗装幅 (m) B1	舗装面積 (m ²) A9=L3*B1		
6	1	1.56	0.77	1.20	0.25	普通舗装(Ⅱ)
合計		1基	舗装種別面積			

※本管土被り1.2m未満の時は浅埋用自在支管を使用すること。



取込管		枳設置深 (h)	鉄蓋
水平距離 VU150mm (m) L5	明示 シート (m)		
2.45	1.95	0.9	
2.45	1.95		

平均取付管長 2.45

※枳設置深さH=1.2m以上の時は縦型インパートを使用すること。

組立人孔(0号・1号)/ 塩ビ(内径300)マンホール材料調書

[illegible]

組立人孔(0号・1号)/ 塩ビ(内径300)マンホール材料調書

人孔 番号	人孔 No.	人孔深	斜壁ブロック						塩ビマンホール			調整リング			調整金具		組立人孔鉄蓋			塩ビM用鉄蓋			内 蓋	起点部部品			削 孔	
			0号人孔			1号人孔			自在継手	異形 ソケット	歩道用						車道用		歩道用	車道用		キャップ		プラグ		φ 200	φ 150	
			30	45	60	30	45	60	200	150	5	10	15	25	45	T-14	T-14	T-25	T-14	T-14	T-25	300	200	200				
31-4-1-1	1 号	1.34					1				1			1			1											
																				</								

舗装版取り壊工(本管部)

工区 番号	人孔番号		人孔間 延長	舗装掘削幅	構造物控除	舗装版切断(〇〇以下)			舗装版取壊工						
	上流	下流				As(m)		Co(m)	取壊面積	表層工(As)		表層工(Co)		路盤工	
			(m)	(m)	(m)	5cm	10cm	10cm	(㎡)	厚(m)	As塊	厚(m)	As塊	厚(m)	路盤材
			L	B2	B3	L1=L*2			A=L*(B2-B3)	t1	v1	t2	v2	t3	v3
1	31-4-1-1	既31-4-1	12.00	1.05		22.0			12.6	0.05	0.6			0.20	2.5
合 計			12.00			22.00			12.60		0.6				2.50

舗装版取り壊し工（公共汚水柵・取り込み管）

人孔間番号			舗装版取壊工		
No.	上流	下流	表層AS	表層CO	路盤工
			厚(m)	厚(m)	厚(m)
			t1	t2	t3
1	31-4-1-1	既31-4-1	0.05		0.20
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

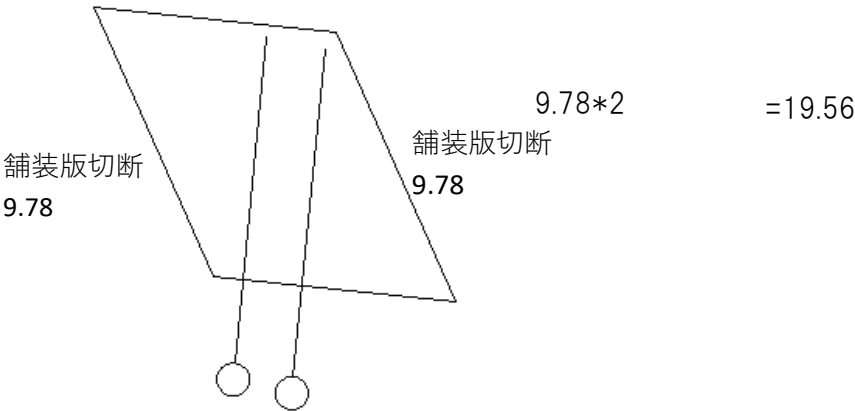
公 共 柵番号	人孔間 番 号	舗 装 版 取 壊 工									舗装版切断工		
		取壊延長	取壊幅	取壊面積	表 層(As)		表 層(Co)		路 盤		AS/10cm	AS/ 20cm	Co/10cm
					厚(m)	As塊	厚(m)	Co塊	厚(m)	路盤材			
(No.)	(m)	(m)	(㎡)	厚(m)	As塊	厚(m)	Co塊	厚(m)	路盤材	(m)			
	L2	B1	A8=L2*B1	t1	V7	t2	V8	t3	V9	L1=L2*2			
1	1	1.56	0.77	1.20	0.05	0.06			0.20	0.24	3.12		
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
合 計				1.20		0.06				0.24	3.12		

舗装版切断工

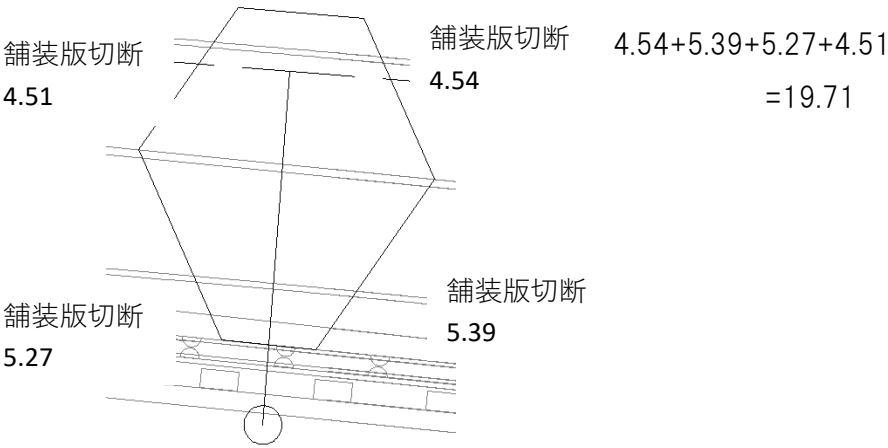
数量計算書

測 点	測点間距離 (m)	延 長 (m)	備 考
栴①栴②		19.56	
栴③		19.71	
計		39.27	小計

栴①栴②



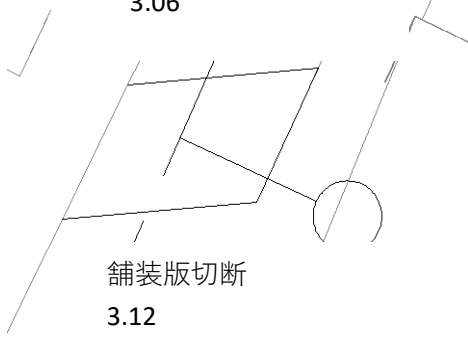
栴③



栞④

舗装版切断

3.06

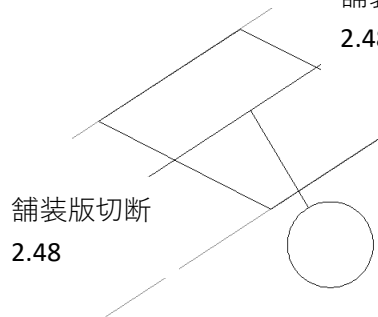


$$3.06 + 3.12 = 6.18$$

栞⑤

舗装版切断

2.48



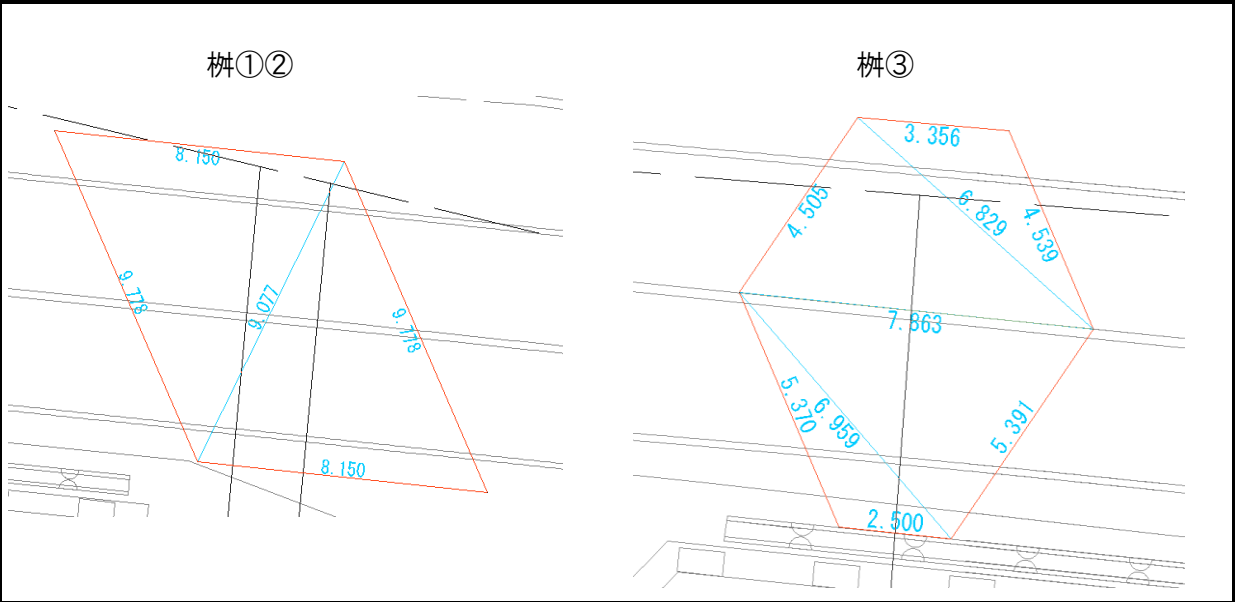
$$2.48 + 2.48 = 4.96$$

舗装版取壊・不陸整正・基層
表層

数量計算書

1工区

測 点	舗装版取壊 t=10cm 不陸整正 t=1cm 表層・基層 各t=5cm							備 考	区 分
	路盤掘削 t=5cm								
	測点間距離 (m)	幅 員 (m)	平均幅員 (m)	平 積 (㎡)					
				機 械 施 工					
				表層	中間層	基層	路盤掘削		
柵①②				69.02		66.09 (53.69)	12.40		県道 B交通
柵③				46.14		43.19 (35.59)	7.60		県道 B交通



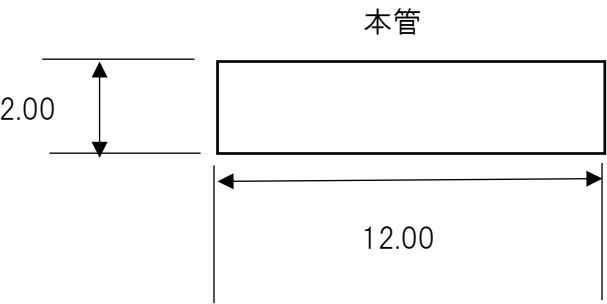
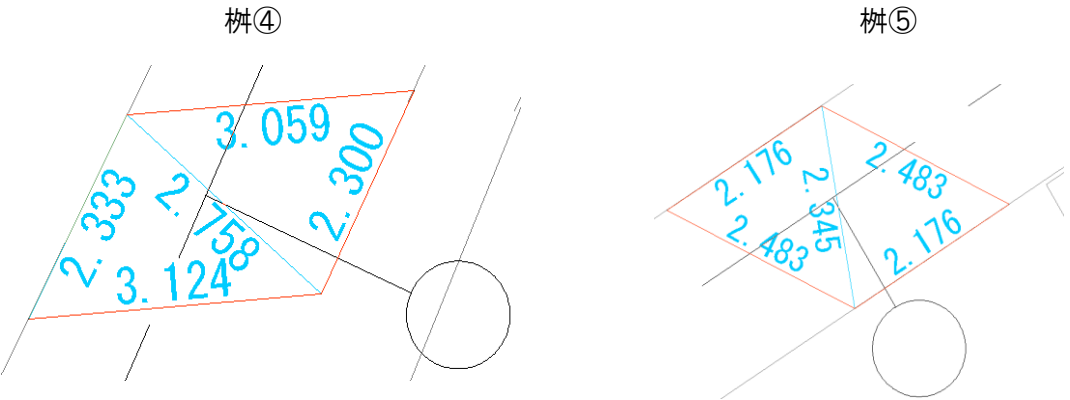
				115.16		109.28 (89.28)	20.00		

舗装版取壊・不陸整正・基層
表層

数量計算書

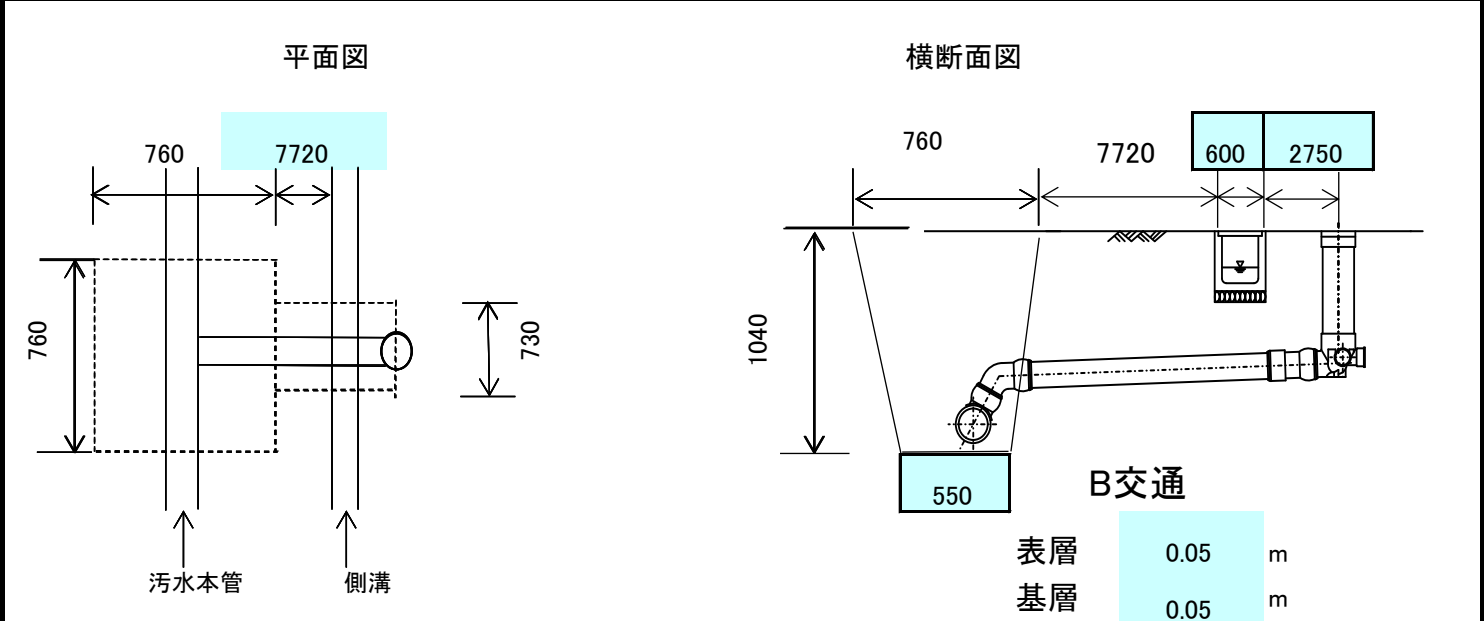
2工区

測 点	舗装版取壊 t=10cm 不陸整正 t=1cm 表層・基層 各t=5cm							備 考	区 分
	路盤掘削 t=5cm								
	測点間距離 (m)	幅 員 (m)	平均幅員 (m)	平 積 (㎡)					
				機 械 施 工					
				表層	中間層	基層	路盤掘削		
枿④								公共汚 水枿④	
枿⑤								公共汚 水枿⑤	
自 No.31-4-1 至 No.31-4-1-1	12.00	2.00 2.00	2.00	22.00			22.00		普通舗装 Ⅱ



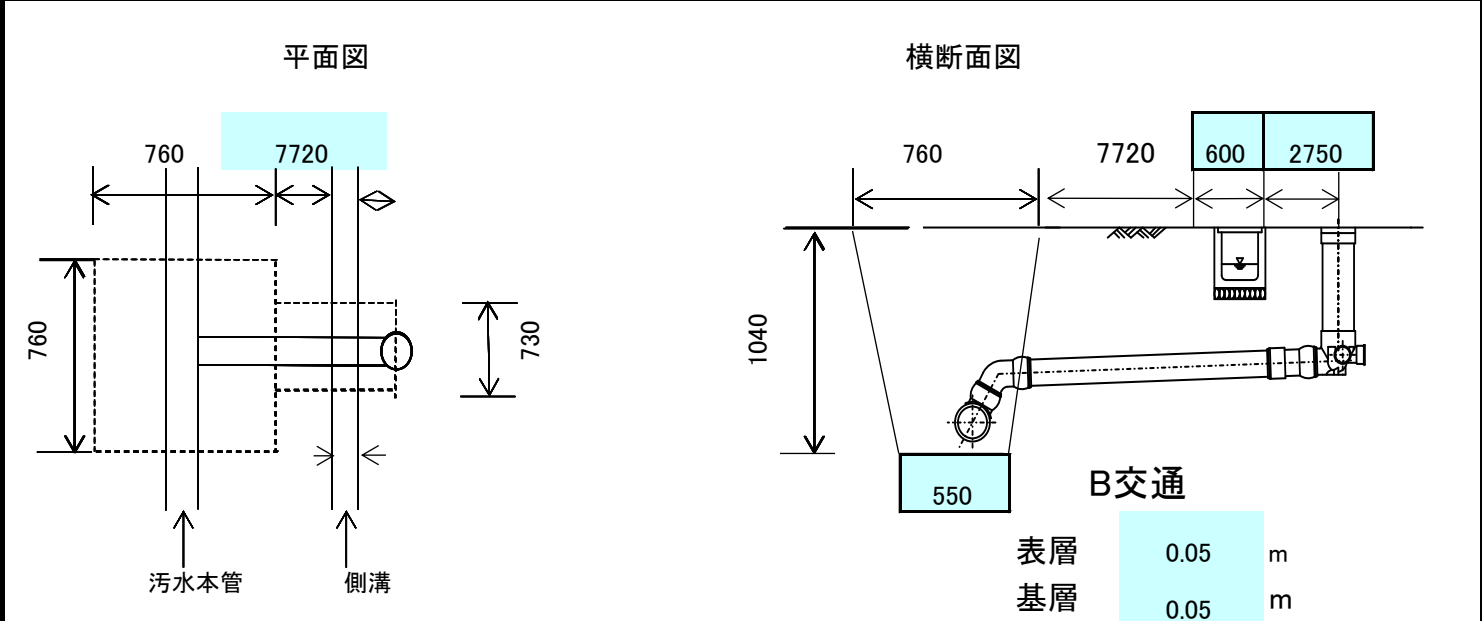
				22.00			22.00		

公共汚水柵		柵①		柵②		柵③		柵④		柵⑤		数量計算集計	
名 称		算 式										数 量	
舗装版切断工		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						63	m
		17.8	17.8	16.5	6.2	5.0		=	63.3				
舗装版取壊工 狭隘部 t= 5 cm		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						31	㎡
		6.2	6.2	7.6	6.2	4.7		=	30.9				
As塊運搬処分 狭隘部		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						2.1	㎡
		0.6	0.6	0.4	0.3	0.2		=	2.1				
路盤掘削積込 狭隘部		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						12.5	㎡
		3.7	3.7	4.5	0.4	0.2		=	12.5				
発生路盤運搬処分 狭隘部		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						12.5	㎡
		3.7	3.7	4.5	0.4	0.2		=	12.5				
ウェルポイント設置撤去(L=2.7m)		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						8	本
		2.0	2.0		2.0	2.0		=	8.0				
ウェルポイント設置撤去(L=3.6m)		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						2	本
				2.0				=	2.0				
発動発電機		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤							日
		=											
アルミ矢板H2.5m		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						6.0	m
				6.0				=	6.0				
管路掘削 (山留内・取付管部)		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						15.5	㎡
		1.5	1.5	10.1	1.5	0.9		=	15.5				
管路掘削 (民地 公柵部)		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						7.2	㎡
		2.0	2.0	2.0	0.4	0.8		=	7.2				
公共汚水柵設置工		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						5	箇所
		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		=	5				
取付管布設工		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						5	箇所
		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		=	5				
管明示シート		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						27.0	m
		8.1	8.1	7.0	2.6	1.2		=	27.0				
機械埋戻 (山留内・取付管部)		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						14.9	㎡
		1.3	1.3	9.9	1.5	0.9		=	14.9				
機械埋戻(狭隘部) (民地 公柵部)		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						7.0	㎡
		2.0	2.0	1.9	0.4	0.7		=	7.0				
下層路盤工 (RC-40 t=10 cm)		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						3.4	㎡
				2.2	1.2		=	3.4					
下層路盤工 (RC-40 t=45 cm)		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						20.0	㎡
		6.2	+	6.2	7.6		=	20.0					
上層路盤工 (RM-40 t=10 cm)		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						3.4	㎡
				2.2	1.2		=	3.4					
上層路盤工 (RM-40 t=15 cm)		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						20.0	㎡
		6.2	6.2	7.6			=	20.0					
不陸整正 (RM-40 t=1cm)												31	㎡
		30.9					=	30.9					
表層工 (再生密粒度 As13 t=50)		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						11	㎡
				6.2	4.7		=	10.9					
表層工 (再生密粒度 As20 t=50)		柵①	柵②	柵③	柵④	柵⑤						20	㎡
		6.2	6.2	7.6			=	20.0					
交通誘導員												28	人
		28					=	28					
交通誘導員												28	人
		28					=	28					



平均掘削深	(1.04 + 0.90)/ 2 = 0.970 m	上層路盤	0.15 m
本管部平均掘削幅	(0.55 + 0.76)/ 2 = 0.655 m	下層路盤	0.45 m
取付管部平均掘削幅	(0.55 + 0.73)/ 2 = 0.640 m		

名 称	算 式	数 量
舗装版切断工	0.76 × 4 - 0.73 + 7.72 × 2	17.8 m
	= 17.75	
舗装版取壊工	0.76 × 0.76 + 0.73 × 7.72	6.2 m²
	= 6.21	
As塊運搬処分	6.21 × 0.10	0.6 m³
	= 0.62	
路盤掘削積込	(0.760 × 0.760 + 0.730 × 7.720) × 0.60 = 3.73	3.7 m³
発生路盤 運搬処分	= 3.73	3.7 m³
ウェルポイント 設置・撤去	ℓ=2.7m 2 本 図面(参考図)より	2 本
管路掘削 (山留内、取付管部)	(0.970 - 0.70) × (0.655 + 0.640)/ 2 ×	1.5 m³
	(0.760 + 7.720) = 1.483	
管路掘削 (民地 公樹部)	0.970 × (2.75 + 0.10) × 0.73	2.0 m³
	= 2.02	
公共汚水樹設置 工	ます設置工(径200mm、H=1.5m以下)	1 箇所
取付管布設工	塩ビ製、径150mm	1 箇所
	取付管延長 L= 11.45 m 図面(平面図)より	
管明示シート	11.45 - 3.35 = 8.10	8.1 m
機械埋戻(狭隘部) (山留内、取付管部)	1.483 - 0.173 = 1.310	1.3 m³
	管控除 8.10 *0.165^2*π/4= 0.173	
機械埋戻(狭隘部) (民地 公樹部)	2.02 - 0.03 = 1.99	2.0 m³
	公樹控除 0.90 *0.216^2*π/4= 0.03	
下層路盤工 (RC-40 t=450)	0.760 × 0.760 + 0.730 × 7.720 = 6.21	6.2 m²
上層路盤工 (RM-40 t=150)	= 6.21	6.2 m²
表層工 再生密粒度As20 t=5	= 6.21	6.2 m²



表層

基層

上層路盤

下層路盤

0.05

0.05

0.15

0.45

m

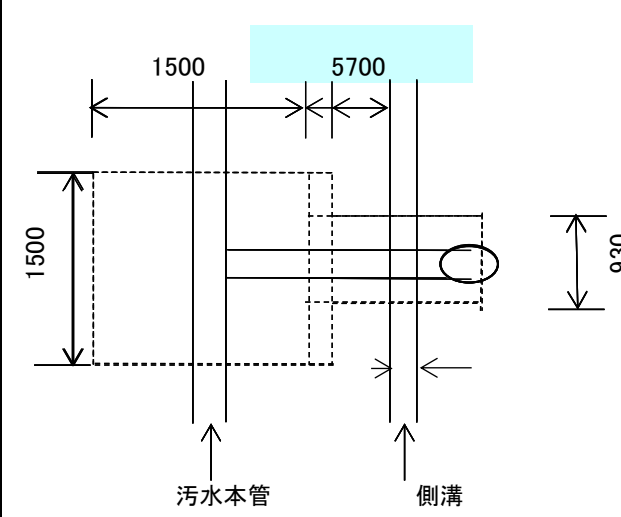
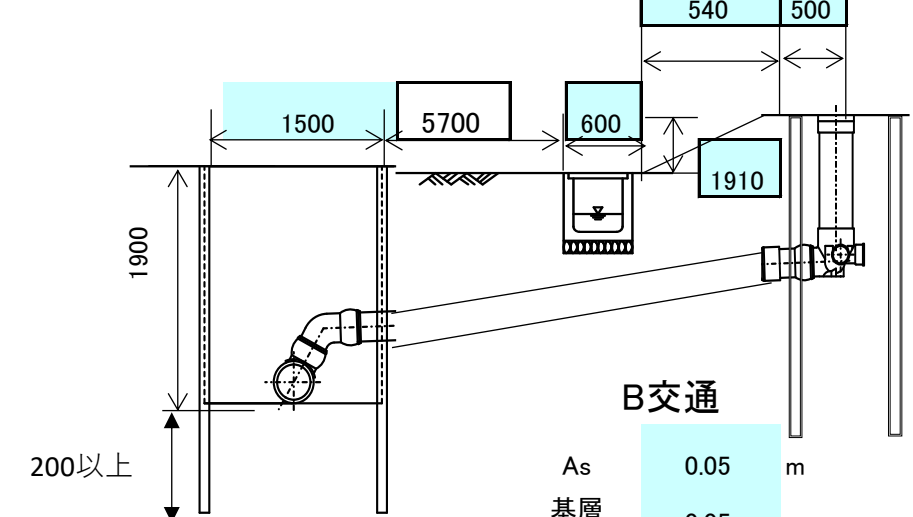
m

m

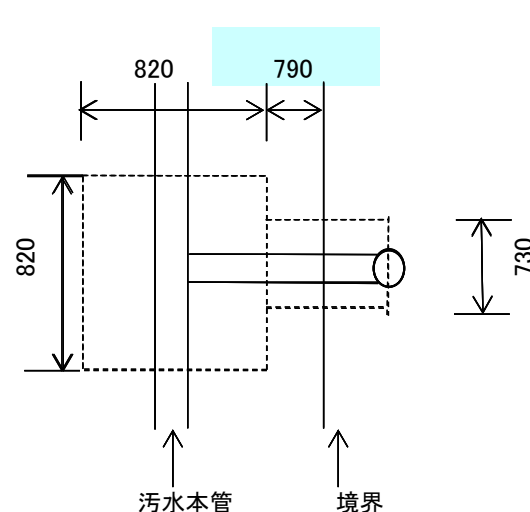
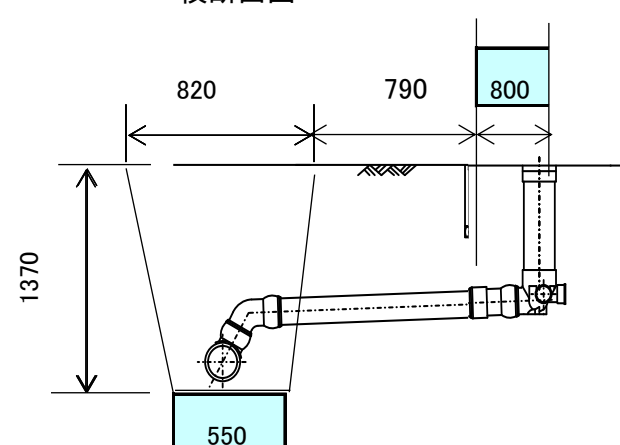
m

平均掘削深	(	1.04	+	0.90	)	/	2	=	0.970	m
本管部平均掘削幅	(	0.76	+	0.55	)	/	2	=	0.655	m
取付管部平均掘削幅	(	0.55	+	0.73	)	/	2	=	0.640	m

名 称	算 式	数 量
舗装版切断工	0.76 × 4 - 0.73 + 7.72 × 2	17.8 m
	= 17.75	
舗装版取壊工	0.76 × 0.76 + 0.73 × 7.72	6.2 m ²
	= 6.21	
As塊運搬処分	6.21 × 0.10	0.6 m ³
	= 0.62	
路盤掘削積込	(0.760 × 0.760 + 0.730 × 7.720) × 0.60 = 3.73	3.7 m ³
発生路盤 運搬処分	= 3.73	3.7 m ³
ウェルポイント 設置・撤去	φ=2.7m 2 本 図面(参考図)より	2 本
管路掘削 (山留内、取付管部)	(0.970 - 0.70) × (0.655 + 0.640) / 2 ×	1.5 m ³
	(0.760 + 7.720) = 1.48	
管路掘削 (民地 公樹部)	0.970 × (2.75 + 0.10) × 0.73	2.0 m ³
	= 2.02	
公共汚水樹設置 工	ます設置工(径200mm、H=1.5m以下)	1 箇所
取付管布設工	塩ビ製、径150mm	1 箇所
	取付管延長 L= 11.45 m 図面(平面図)より	
管明示シート	11.45 - 3.35 = 8.10	8.1 m
機械埋戻(狭隙部) (山留内、取付管部)	1.48 - 0.173 = 1.310	1.3 m ³
	管控除 8.10 *0.165^2*π/4= 0.173	
機械埋戻(狭隙部) (民地 公樹部)	2.02 - 0.03 = 1.99	2.0 m ³
	公樹控除 0.90 *0.216^2*π/4= 0.03	
下層路盤工 (RC-40 t=450)	0.760 × 0.760 + 0.730 × 7.720 = 6.21	6.2 m ²
上層路盤工 (RM-40 t=150)	= 6.21	6.2 m ²
表層工 (再生密粒度As20 t=50)	= 6.21	6.2 m ²

平面図		横断面図	
			
平均掘削深	$(1.90 + 1.90) / 2 = 1.900 \text{ m}$	上層路盤	0.15 m
本管部平均掘削幅	$(1.50 + 1.50) / 2 = 1.500 \text{ m}$	下層路盤	0.45 m
取付管部平均掘削幅	$(0.55 + 0.93) / 2 = 0.740 \text{ m}$		
名 称	算 式	数 量	
舗装版切断工	$1.50 \times 4 - 0.93 + 5.7 \times 2$	16.5	m
	= 16.47		
舗装版取壊工	$1.50 \times 1.5 + 0.93 \times 5.7$	7.6	m ²
	= 7.55		
As塊運搬処分	7.55×0.05	0.4	m ³
	= 0.38		
路盤掘削積込	$(1.500 \times 1.500 + 0.930 \times 5.700) \times 0.60$	4.5	m ³
	= 4.53		
発生路盤 運搬処分		4.5	m ³
	= 4.53		
ウェルポイント 設置・撤去	φ=3.6m 2 本	2	本
	図面(参考図)より		
管路掘削 (山留内、取付管部)	$(1.900 - 0.65) \times (1.500 + 0.740) / 2 \times$	10.1	m ³
	$(1.500 + 5.700)$		
管路掘削 (民地 公樹部)	$1.900 \times (0.54 + 0.60) \times 0.93$	2.0	m ³
	= 2.01		
公共汚水樹設置工	まず設置工(径200mm、H=1.5m以下) 縦型	1	箇所
取付管布設工	塩ビ製、径150mm	1	箇所
	取付管延長 L= 8.09 m 図面(平面図)より		
管明示シート	$8.09 - 1.14$	7.0	m
	= 6.95		
機械埋戻(狭隘部) (山留内、取付管部)	$10.08 - 0.149 = 9.931$	9.9	m ³
	管控除 $6.95 \times 0.165^2 \times \pi / 4 = 0.149$		
機械埋戻(狭隘部) (民地 公樹部)	$2.01 - 0.07 = 1.94$	1.9	m ³
	公樹控除 $1.90 \times 0.216^2 \times \pi / 4 = 0.07$		
下層路盤工 (RC-40 t=450)	$1.500 \times 1.500 + 0.930 \times 5.700$	7.6	m ²
	= 7.55		
上層路盤工 (RM-40 t=150)		7.6	m ²
	= 7.55		
表層工 (再生密粒度As20 t=50)		7.6	m ²
	= 7.55		
アルミ矢板土留 建込・引抜工 (矢板長 H=2.5m)	$(1.50 + 1.50) \times 2.00$	6.0	m
	= 6.00		
支保材 設置・撤去		6.0	m
アルミ矢板土留 損料 (矢板長 H=2.5m)		1	式

公共汚水樹			④	数量計算書		
平面図			横断面図			
			普通舗装Ⅱ			
			As	0.05	m	
平均掘削深	(1.18 + 0.90) / 2 =	1.040	m	上層路盤	0.10 m	
本管部平均掘削幅	(0.79 + 0.55) / 2 =	0.670	m	下層路盤	0.10 m	
取付管部平均掘削幅	(0.55 + 0.73) / 2 =	0.640	m			
名 称	算 式				数 量	
舗装版切断工	3.060 + 3.12				6.2 m	
	= 6.18					
舗装版取壊工	6.16				6.2 m ²	
	集積計算書より = 6.16					
As塊運搬処分	6.16 × 0.05				0.3 m ³	
	= 0.31					
路盤掘削積込	(0.790 × 0.790 + 0.730 × 2.155) × 0.20 = 0.44				0.4 m ³	
発生路盤 運搬処分	= 0.44				0.4 m ³	
ウェルポイント 設置・撤去	ℓ=2.7m 2 本				2 本	
	図面(参考図)より					
管路掘削 (山留内、取付管部)	(1.040 - 0.25) × (0.670 + 0.640) / 2 ×				1.5 m ³	
	(0.790 + 2.155) = 1.52					
管路掘削 (民地 公樹部)	1.040 × (0.45 + 0.10) × 0.73				0.4 m ³	
	= 0.42					
公共汚水樹設置工	まず設置工(径200mm、H=1.5m以下)				1 箇所	
取付管布設工	塩ビ製、径150mm				1 箇所	
	取付管延長 L= 3.00 m 図面(平面図)より					
管明示シート					2.6 m	
	3.00 - 0.45 = 2.55					
機械埋戻(狭隘部) (山留内、取付管部)	1.52 - 0.055 = 1.469				1.5 m ³	
	管控除 2.55 *0.165^2*π/4= 0.055					
機械埋戻(狭隘部) (民地 公樹部)	0.42 - 0.03 = 0.39				0.4 m ³	
	公樹控除 0.90 *0.216^2*π/4= 0.03					
下層路盤工 (RC-40 t=100)	0.790 × 0.790 + 0.730 × 2.155 = 2.20				2.2 m ²	
上層路盤工 (RM-40 t=100)	= 2.20				2.2 m ²	
表層工 (再生密粒度As13 t=50)	= 6.16				6.2 m ²	

公共汚水柵			⑤	数量計算書		
平面図			横断面図			
						
平均掘削深			$(1.37 + 0.90) / 2 = 1.135$		m	
本管部平均掘削幅			$(0.55 + 0.82) / 2 = 0.685$		m	
取付管部平均掘削幅			$(0.55 + 0.73) / 2 = 0.640$		m	
普通舗装Ⅱ			As		0.05 m	
			上層路盤		0.10 m	
			下層路盤		0.10 m	
名 称	算 式				数 量	
舗装版切断工	$2.480 + 2.48$				5.0 m	
	$= 4.96$					
舗装版取壊工	4.68				4.7 m ²	
	集積計算書より $= 4.68$					
As塊運搬処分	4.68×0.05				0.2 m ³	
	$= 0.23$					
路盤掘削積込	$(0.820 \times 0.820 + 0.730 \times 0.790) \times 0.20 = 0.25$				0.2 m ³	
	$= 0.25$					
発生路盤 運搬処分	$= 0.25$				0.2 m ³	
	$= 0.25$					
ウェルポイント 設置・撤去	$\phi=2.7m$ 2 本				2 本	
	図面(参考図)より					
管路掘削 (山留内、取付管部)	$(1.135 - 0.25) \times (0.685 + 0.640) / 2 \times$				0.9 m ³	
	$(0.820 + 0.790) = 0.94$					
管路掘削 (民地 公柵部)	$1.135 \times (0.80 + 0.10) \times 0.73$				0.8 m ³	
	$= 0.75$					
公共汚水柵設置 工	まず設置工(径200mm、H=1.5m以下)				1 箇所	
取付管布設工	塩ビ製、径150mm				1 箇所	
	取付管延長 L= 2.00 m 図面(平面図)より					
管明示シート					1.2 m	
	$2.00 - 0.80 = 1.20$					
機械埋戻(狭隘部) (山留内、取付管部)	$0.94 - 0.026 = 0.914$				0.9 m ³	
	管控除 1.20 $\times 0.165^2 \times \pi / 4 = 0.026$					
機械埋戻(狭隘部) (民地 公柵部)	$0.75 - 0.03 = 0.72$				0.7 m ³	
	公柵控除 0.90 $\times 0.216^2 \times \pi / 4 = 0.03$					
下層路盤工 (RC-40t=100)	$0.820 \times 0.820 + 0.730 \times 0.790 = 1.25$				1.2 m ²	
	$= 1.25$					
上層路盤工 (RM-40 t=100)	$= 1.25$				1.2 m ²	
	$= 1.25$					
表層工 (再生密粒度As13 t=50)	$= 4.68$				4.7 m ²	
	$= 4.68$					

求 積 計 算 表

番号	計 算 式				数 量 (㎡)	備 考
	辺長1	辺長2	辺長3	(1+2+3)/2		
①	9.778	9.077	8.150	13.50	34.51	
②	9.778	9.077	8.150	13.50	34.51	B交通
					69.02	求積【1】
①	6.959	5.370	2.500	7.41	5.82	
②	7.863	6.829	4.505	9.60	15.32	
③	7.863	6.959	5.391	10.11	18.34	
④	6.829	4.539	3.356	7.36	6.66	B交通
					46.14	求積【2】
①	3.124	2.758	2.333	4.11	3.11	
②	3.059	2.758	2.300	4.06	3.05	普通舗装Ⅱ
					6.16	求積【3】
①	2.483	2.345	2.176	3.50	2.34	
②	2.483	2.345	2.176	3.50	2.34	普通舗装Ⅱ
					4.68	求積【4】